

令和三年(二〇二二)五月十六日(日)

午後一時三十分開演(午後十二時三十分開場)

於 京都市左京区東山仁王門東入  
京都観世会館能楽堂

電話 〇七五-七七一-六一一四

井上裕久能の会

まつはな かい

# 第二十七回 松花の会

仕舞

放下僧

杉浦豊彦

小歌

地謡

野宮

浦田保浩

井上裕之真  
浅井通昭  
吉浪壽晃  
橋本光史

休憩

能 Toru

尉融大臣 井上裕久

## 融

株僧 福王知登

大鼓 石井保彦 太鼓 井上敬介  
小鼓 曾和鼓堂 笛 森田保美

白式舞働之傳

間 所ノ者 茂山逸平

附祝言

後見

勝部延和  
杉浦豊彦

地謡

井上裕之真 寺澤幸祐  
宮本茂樹 吉浪壽晃  
吉田篤史 浦田保浩  
橋本光史 浅井通昭

(終了午後四時前)

あらすじ

融とおる 白式舞働之傳

東国から都へ上つて来た僧(ワキ)が、六条河原院に着いて休んでいると、田子を荷つた一人の老人(前シテ)が来ます。このあたりの人かとなずねると、この所の汐汲みだと答えるので、海辺でもないのに汐汲みとはおかしいと言うと、ここは昔、融大臣が、広大な邸宅を作り、陸奥の塩釜の景を移したところだと答へ、僧の問うままに、融が日毎に難波の浦から潮水を運ばせ、ここで塩を焼かせるという風流を楽しんだが、相続する人もなく廃墟となつた事を物語り、また遠近の名所を教え、やがて汀に寄つて汐を汲むかと思つと、姿は見えなくなりませす。ハ中入V僧は、丁度来あわせた六条辺の者(アイ)から融大臣の事や往時の塩焼きの様子を聞かされ、先刻の老人の話をすると、それは融の霊の化身であろうから吊いをするよう勧められます。その夜、僧がそこで旅寝をしていると、融大臣(後シテ)が貴人の姿で現れ、昔を偲んで、名月の下で舞をまい、夜明けと共に消えてゆきます。

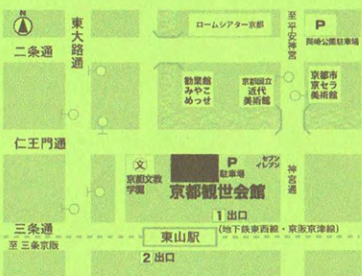
白式舞働之傳(はくしきまいばたらきのでん)

観阿弥の原作は融ノ霊が鬼の姿で現れ、荒れ果てた庭園に憤る作と言われています。その風を残す特殊演出で黒頭に初冠、装束は白一色となります。また優雅な早舞は舞わず、特殊な舞働から急之舞を舞います。

《お願いとお知らせ》

- ◎ 新型コロナウイルス感染症防止にご協力お願い致します。
- ◎ 会場では他のお客様の御迷惑になりませぬ様お静かにお願いします。
- ◎ 許可の無い録音・録画・写真撮影は厳禁です。
- ◎ 携帯電話は電源を切るか、必ず着信の音量をゼロにしてください。
- ◎ 見所でのご飲食はご遠慮ください。
- ◎ 喫煙は決められた場所でのみお願い致します。
- ◎ 会場周辺は駐車禁止です。東隣の会館有料駐車場および近辺駐車場を御利用ください。
- ◎ 進行時間はあくまでも目安です。ご了承下さい。
- ◎ お客様のご都合による観能券の払戻しは致しかねます。
- ◎ 都合により出演者に変更がある場合がございます。ご了承下さいませ。

### 京都観世会館アクセス



- JR京都駅から  
市バス5番、100番で「京都観世会館前」下車  
市地下鉄「烏丸御池」にて地下鉄東西線乗り換え「東山駅」下車
- 阪急河原町駅から  
市バス31番、46番、201番、203番で「東山仁王門」下車
- 京阪三条駅から  
市バス5番で「京都観世会館前」下車  
地下鉄東西線で「東山駅」下車
- 地下鉄東西線「東山駅」から徒歩約5分